

制定日 2016年4月 1日

**Safety Data Sheet**  
安全性データシート

株式会社コベルコ科研  
兵庫県高砂市荒井町新浜 2 丁目 3-1  
担当部門 ターゲット事業本部技術部  
電話番号 079-445-9024  
FAX 番号 079-445-9025  
緊急連絡先 同上

## 1. 品名

ジルコニウム

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類	項 目	Zr(粉末)
物理化学的危険性	火薬類	分類対象外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外
	高压ガス	分類対象外
	引火性液体	分類対象外
	可燃性固体	区分1
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	分類対象外
	自然発火性固体	区分1
	自己発熱性化学品	区分1
	水反応可燃性化学品	区分外
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類対象外
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性物質	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	分類できない
	急性毒性(経皮)	分類できない
	急性毒性(吸入・ガス)	分類対象外
	急性毒性(吸入・蒸気)	分類できない
	急性毒性(吸入・粉塵、ミスト)	分類できない
	急性毒性(吸入・粉塵、ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性・刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	区分1
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	区分外
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	区分3(気道刺激性)
	特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	区分3(気道刺激性)
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	分類できない
	水生環境慢性有害性	分類できない
ラベル要素	絵表示又はシンボル	
	注意喚起語	危険
	危険有害性情報	可燃性固体 空気に触れると自然発火 自己発熱:発火のおそれ アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ 呼吸器への刺激のおそれ

GHS分類	項目	Zr(粉末)
ラベル要素 (続き)	注意書き	<p><b>【安全対策】</b>            保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。            熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。            防爆型の電気機器、換気装置、照明器具等適切な機器を使用すること。            容器および受器を設置、結合すること。            汚染された作業衣は作業場から出さないこと。            屋外または換気のよい場所でのみ使用すること。</p> <p><b>【救急処置】</b>            火災の場合には適切な消火方法をとること。            固着していない粒子を皮膚から払いのけ、冷たい水に浸すこと。湿った包帯で覆うこと。            皮膚についた場合、多量の水と石鹸で洗うこと。            皮膚刺激または発疹が生じた場合は、意思の診断、手当てを受けること。            汚染した衣類を再使用する場合は選択すること。            気分が悪いときは、医師に連絡すること。吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で急速させること。</p> <p><b>【保管】</b>            内容物を適当な液体又は不活性ガス中で保管すること。            他の物質から離して保管すること。            適切な保管条件で保管すること。            積荷、パレット間にすきまをあけること。            施錠して保管すること。            容器を密閉して換気の良いところで保管すること。</p> <p><b>【廃棄】</b>            内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。</p>
	国・地域情報:	-----

### 3. 組成・成分情報

単一物質・混合物の区別	単一物質
化学名	ジルコニウム
化学式または構造式	Zr
官報公示整理番号 (安衛法、化審法)	-----
CAS番号	7440-67-7
国連分類および国連番号	-----

### 4. 応急措置

目に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。 気分が悪いときは、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	付着または接触部を石けん水で洗浄し、多量の水を用いて洗い流し、速やかに医師の診察を受ける。
吸入した場合	直ちに被災者を毛布等にくるんで安静にさせ、新鮮な空気のある場所に移し、速やかに医師の診察を受ける。呼吸困難または呼吸が停止しているときは直ちに人工呼吸を行う。
飲み込んだ場合	意識があるときは吐かせて口の中を水でよく洗浄する。直ちに医師の手当てを受ける。

## 5. 火災時の配置消火剤

消火剤	小火災:粉末消火剤、ソーダ灰、石灰、乾燥砂。 大火災:乾燥砂、粉末消火剤、ソーダ灰、石灰。
火災時の特定危険有害性	消火後再び発火するおそれがある。 火災時に刺激性、腐食性、毒性のガスを発生するおそれがある。 分解生成物を吸入すると、重傷や死に至るおそれがある。 接触により皮膚や眼に炎症を起こすおそれがある。 消火水が汚染を引き起こすおそれがある。
特有の消火方法	火災の場合には、消火に規制所管官庁が指定する適切な手段を使用すること。 危険でなければ、容器を火災区域から移動する。 タンク、貨車あるいはタンク車が火災に巻き込まれた場合は、全ての方向に適切な隔離距離と適切な避難距離をとる。 消火活動は有効に行える最も遠い距離から無人ホース保持具やモニター付きノズルを用いて消火する。 容器内に水を入れてはいけい。水と物質とを接触させてはいけい。 消火後も大量の水を用いて十分に容器を冷却する。 安全弁から音が発生したり、タンクが変色した時は直ちに避難する。 火災に巻き込まれたタンクから常に離れる。
消火を行う者の保護	適切な空気呼吸装置、防護服(耐熱性)を着用する。

## 6. 漏洩時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	「8. ばく露防止及び保護措置」の項に示した適切な保護具を着用する。 全ての着火源を取り除く。 近傍での喫煙、火花や火炎の禁止。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として立ち入り禁止とする。 関係者以外は近づけない。 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。 風上にとどまる。 低地から離れる。
環境に対する注意事項:	河川等に排出され、環境への影響をおこさないように注意する。
回収、中和:	こぼれた物質を容器内に掃き入れる。湿らせてもよい場合は、粉じんを避けるために湿らせてから掃き入れる。
封じ込め及び浄化の方法・機材:	危険でなければ漏れを止める。
二次災害の防止策:	排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐこと。 全ての着火源を取り除くこと。

## 7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い	<p>技術的対策: 第8項記載の設備対策を行い、保護具を着用する。          局所排気・全体換気: 第8項記載の局所排気、全体換気を行う。          内容物を規制所管官庁が指定する適切な液体又は不活性ガス中で保管すること。          この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。          熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。          湿った空気や湿気と接触すると発火するおそれがある。          フレアー燃焼効果により速やかに燃焼するおそれがあるものがある。          水と接触すると激しく又は爆発的に反応するものがある。          加熱されたり火災に巻き込まれると、爆発的に分解するものがある。          漏洩すると火災・爆発の危険がある。          加熱により容器が爆発するおそれがある。</p>
貯蔵	<p>技術的対策: 内容物を規制所管官庁が指定する適切な液体又は不活性ガス中で保管すること。          容器および受器を接地、結合すること。          混触危険物質: 「10. 安定性及び反応性」を参照。          保管条件: 容器を密閉して冷乾所にて保存すること。          施錠して保管すること。          熱、スパーク、火炎並びに静電気蓄積を避けること。          容器包装材料: 国連輸送規則で規定されている容器を使用する。</p>

## 8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	-----
許容濃度	ACGIH (2002 年) Zr : TLV-TWA 5mg / m <sup>3</sup>
設備対策	屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。
保護具	呼吸用保護具: 吸保護具の使用の要求される環境下では、呼吸保護具を着用する。
	保護眼鏡: 適当な保護眼鏡もしくは安全眼鏡を着用する。
	保護手袋: 皮膚の露出を防ぐために適当な手袋を着用する。
	保護衣: 皮膚の露出を防ぐために適当な保護衣を着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

外観等	硬い、光沢のある、帯灰白色の薄片あるいは灰色の無定型粉末
沸点: °C	4409°C
蒸気圧: Pa (20°C)	情報が入手できません。
揮発性	情報が入手できません。
融点: °C	1857°C
比重または嵩比重	6.5
溶解度	水: 不溶、塩酸・王水: 可溶(反応) <sup>1)</sup>
その他	-----

## 10. 安定性及び反応性

引火点:℃	情報が入手できません。
発火点:℃	情報が入手できません。
爆発限界: 上限% 下限%	情報が入手できません。
可燃性	情報が入手できません。
発火性(自然発火性・水との反応性)	>200℃
酸化性	情報が入手できません。
自己反応性・爆発性	情報が入手できません。
粉じん爆発性	情報が入手できません。
安定性・反応性	可燃性。 多くの反応により、火災や爆発を生じることがある。
その他	避けるべき条件: 加熱、空気との混合

## 11. 有害性情報

腐食性	情報が入手できません。
刺激性(皮膚、眼)	情報が入手できません。
感作性	情報が入手できません。
急性毒性 (50%致死量を含む)	経口: データなし 経皮: データなし 吸入(蒸気、粉じん): データなし、(ガス): 区分外
亜急性毒性	情報が入手できません。
慢性毒性	情報が入手できません。
がん原性	情報が入手できません。
変異原性 (微生物、染色体異)	情報が入手できません。
生殖毒性	情報が入手できません。
催奇毒性	情報が入手できません。
その他(水と反応して有害なガスを発生する等を含む)	情報が入手できません。

## 12. 環境影響情報

情報が入手できません。
-------------

## 13. 廃棄上の注意

再利用のため回収します。
--------------

## 14. 輸送上の注意

キズが付きやすいので落下させたり、衝撃を与えたりしないでください。
-----------------------------------

## 15. 適用法令

労働安全衛生法	特定できず
労働基準法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	第2類可燃性固体、金属粉 5
危険物船舶運送及び貯蔵規則	特定できず
PRTR法	非該当

## 16. その他

<b>その他</b> (記載内容の 問い合わせ先、 引用文献等)	記載内容の問い合わせ先	株式会社コベルコ科研
	引用文献	<ul style="list-style-type: none"> <li>•ACGIH発行TLV<sub>s</sub><sup>®</sup> and BEI<sub>s</sub><sup>®</sup>2005</li> <li>•厚生労働省:職場の安全サイト  <a href="http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/GHS_MSD_FND.aspx">http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/GHS_MSD_FND.aspx</a></li> <li>•安全衛生情報センター  <a href="http://www.jaish.gr.jp/">http://www.jaish.gr.jp/</a>  <a href="http://www.nihs.go.jp/ICSC/">http://www.nihs.go.jp/ICSC/</a> 他</li> </ul>
	改訂履歴	Rev.0:新規制定

\*危険・有害性の情報は十分ではありません。また、本文書は安全の保証書ではありません